

【22_256技術系メルマガ】検証も簡単！MAを使ったプルバック終わりの探し方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回は、まだーから自分のトレードの『型』を作る事を考えている人はもちろんですが今のトレードスタイルから、もう一つ新しい型を作りたい人にも、難しく考えずにできる僕の得意パターンをひとつ紹介したいと思います。

□
└─ ■ SMAの『お決まりのパターン』でプルバック終わりを見究める
└──────────────────────────┘

親の顔より見たこの画像(言い過ぎ 笑)って感じで、しつこいようですが

『目線』を決めたあとの僕のエントリーまでのセットアップは、常にこのような形を狙っています。

▼イメージ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/guidance_000.png

とはいえ、この形でチャートを追っていた人は、1回くらい思ったかもしれません。

「・・・いうて、プルバックの終わりってどこなのかわからないよね」と。

実は、これまでに僕が時折ツイートしているトレードの中にそのヒントはあるのですが(最近バタバタして、アップできてなくてすみません)

僕がプルバックの終わりを想定するポイントがひとつあります。

それが、サブタイトルにもある通り『MAとの位置関係』です。

あんまり焦らしてもしょうがないので、タネ明かしをすると

『M15足の収縮MAの束へのタッチと、M5足の100MAのタッチの連動』です。

何でこの組み合わせなのか？ と、疑問に思う人もいるかもしれませんが

まずセットアップを探す一番のポイントになる『1波目』を認識した時

そこから収縮したMAは徐々に発散していきます。

平均値がバラつき始めるわけですから、これは当然の反応ですね。

そこから、天底の確認のために入るプルバックは、割と時間をおかずに入れてくる事が多いので

「まだ」収縮しているMAにタッチする位の位置が、プルバックの終わり位置として

丁度いい塩梅になるケースが多いのです。

あとはそこから、チャートを見る余裕がある人は下位足のチャートパターンに分解して

ネックラインブレイクで入れたり、少々アレンジすれば良いです。

まず、上に書いたように 『1波』が認識できたあとのMAとの位置関係に注目して

プルバックの終了候補を自分で決める練習をしてみてください。

サロンなどで、僕の実トレード事例は、根拠含め細かく共有しているので

ここで全ての詳細はお出しできないですが、エントリーポイントを自分のチャートでチェックするだけでも

そこにヒントが詰まっているので、是非過去のツイートも見てみてくださいね。

たまに「教えてほしい」という人がいるので一応補足しておく

僕がこの分析で使っているMAは、『20 40 50 100(全てSMA)』の4本です。

結構該当するチャンスは沢山あるので、探してみてくださいね。